

立 命 館 言 語 文 化 研 究

9 卷 4 号

目 次

特集Ⅰ 比較文化研究：

はじめに	西 川 長 夫 (1)
生成される「少数言語」——「コルシカ語」の形成と 知識人の関係についての社会言語学的分析 ——	長谷川 秀 樹 (5)
タイ山岳民族と開発	崔 博 憲 (25)
「中国文化論」に見るナショナリズム言説 —— 1980年代の文化論ブームを中心に	菅 原 慶 乃 (53)
陸 羯南の国際観	全 且 煥 (71)
カナダ多文化主義の思想と政策 —— 差異の承認と 相互尊重に基づく多民族社会への改革 ——	高 野 晃 一 (101)
1968年5月 —— 消えない言葉	西 川 長 夫 (125)
書評 生田美智子 『大黒屋光太夫の接吻』（平凡社選書）	奥 村 剋 三 (169)

特集Ⅱ 日系文化研究：

日系アメリカ文学における二つの文化の葛藤とその変容の歴史的研究(2)	
はじめに	彦 坂 佳 宣 (175)
ためらいはなく——トシオ・モリの文学における 日本とアメリカ ——	山 本 岩 夫 (177)
“Go” と “基” の文化の狭間で —— Holly Uyemoto の Go にみられる二つの文化の 葛藤と融合 ——	桧 原 美 恵 (191)
マニトバ日系市民協会の組織と活動 MJCCA機関誌『展望』を通して —— 創刊(1952年)から補償獲得(1988年)まで ——	佐々木 敏 二 (205)
研究会活動記録	(245)

個別論文

Untersuchung formaler Bezüge in Nagai Kafûs Kurzgeschichte “Die Hortensie”	Monika WERNITZ (251)
『ころも』・「大逆事件」・リアリズム (Ⅳ)	中 村 泰 行 (267)
『草の葉』に描かれたリンカン	奥 村 家 造 (283)

公開シンポジウム：歴史はいかに語られるか

ミシュレ —— 国民史と博物誌のあいだで	笹 田 恭 史 (301)
司馬遼太郎論	成 田 龍 一 (314)
従軍慰安婦問題	上 野 千 鶴 子 (324)
コメント	高 木 博 志 / 岩 崎 稔 / 渡 辺 公 三 (338)